

梶原支所管内より



挑戦します！甘とう栽培

またがわ やすよし
又川 恭良さん(62)

梶原町仲洞で今年から土佐甘とう栽培に励む又川さん。自分のペースでできる仕事を探していたところ、近隣の農家さんがハウスを貸してくれたことが農業のきっかけとなりました。「まわりの方々に感謝して、精一杯頑張りたい」と語ってくれました。

ステイホームでF1観戦中

ちんだ たかゆき
鎮田 貴行さん(47)

県外で働いていた鎮田さんは、実家の農業を引き継ぐため地元へ戻り技術を学んできました。昨年1月に経営継承を行い、21.5アールでミウガの栽培に取り組まれています。

自動車やバイクが趣味で、最近はテレビでF1を観戦することが楽しみだそうです！

興津支所管内より



高西
地区

から こんには 今月の○○ 気になる人

大野見支所管内より



『令和』も頑張るで～

ふるや ふくえ
(左) 古谷 福恵さん(94)

こいずみかめい
(右) 小泉 亀井さん(94)

自宅から歩いて支所まで来られた古谷さんと、畑仕事用の地下足袋を探しに来られた小泉さんは、なんと大正15年生まれと同級生！大野見支所で「久しぶりやねえ～。元気かよ～」とお話しているところ、「ちよリス」「よりぞう」のぬいぐるみと記念撮影させて頂きました。これから暑い夏がやってきますが、益々お元気でお過ごしください！

東津野支所管内より



土佐甘とうの栽培を始めました！

たかはし かつし
高橋 克志さん(50)

今年から農業に新規参入した高橋さん。以前からハウス園芸をしたいという思いがあったそうで、津野町芳生野で空きハウスを利用して土佐甘とう栽培を始めました。これから収穫が忙しくなるシーズンですが、張り切って作業を楽しみたいと意気込みます。

息抜きは、趣味のアジング（アジ釣り）に行くことだそうです。

【お詫びと訂正】6月号の記事中に誤りがありました。お詫びして訂正します。
10ページ「高西地区からこんには 今月の気になる人」
武吉 泰典さんのふりがな／誤…たけよし やすのりさん 正…たけよし たいすけさん

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 四万十地域

ピーマン部会アドバイザー巡回



生育確認を行いました

6月4日、夏秋ピーマン部会がアドバイザー巡回を行いました。新規栽培者と栽培歴の浅い生産者（3年目以内）を中心に、嶋内宏昇氏、岡林景補氏両アドバイザーより改善点や今後の管理の注意点等の指導を計13戸にて行いました。
今年の作に関しては、春先朝晩気温が低い時期が続きましたが、天候に恵まれたため生育は全体的に順調に進んでいます。今後も夏季にかけて開催を予定しております。

3 四万十地域

JAの耐震補強工事終了



外観も一新されました

昨年度から行ってきた四万十支所農協会館の耐震補強工事が5月末に終了しました。工事期間中は駐車場の一部封鎖や、館内外の騒音など、近隣や利用者の皆様にはご迷惑をお掛けしました。赤いタイル張りだった全体の外壁は鋼板へ変更し、内部も耐震補強を施行しています。
会館は非常時には四万十町指定の避難場所としても使用することになっており、組合員・地域住民の皆様が利用しやすい施設になるよう今後も管理を行っていきます。

6 津野山地域

野菜作りに挑戦



土や苗に触れながら学びます

5月27日、津野山営農経済センターは津野町立認定こども園の「さくらんぼ園」にて、食育支援の一環として野菜の植え付け体験を行いました。園の児童ら約40人を対象にミニトマトやピーマン、キュウリなどの植え付けをレクチャーしました。さくらんぼ園では毎年食育支援活動を行っており、野菜作りを通じて児童たちに豊かな心を築いてもらいたいと考えています。

4 津野山地域

特産野菜 出荷始まる



米ナスの梱包作業を行う職員ら

津野山地域では夏秋品目の出荷が始まりました。米ナス、小ナス、シントウ、土佐甘とうの受入れ作業で出荷場も賑わっています。今年は4月上旬の冷え込みや寒暖差の影響からか、少し緩やかな出荷開始となりましたが、今の時期は夜温も温かくなり、それぞれの品目の生育も向上してきています。大きな台風や自然災害の影響がなく順調な出荷が続くよう期待しています。



山本さん（右）と早乙女による田植え

1 四万十地域

秋の献納へ 献穀田田植式

5月28日、四万十町の平野地区で、令和2年度新嘗祭献穀田田植式が開かれました。11月の宮中行事、新嘗祭に献上する精米を生産するため、神事や早乙女による田植えを執り行うもので、町内では15年ぶりの開催となりました。献穀者として農協エコ栽培米生産部会・副部会長で、同地区の山本道雄さんが推挙され、神事には農業関係者、役員職員など約30人が参加しました。会場では手指の消毒を行い、密接を避けるため座席の間隔を空け、参加者はマスクを着用するなど新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための対策がとられました。
田植の儀では山本さんと、妻の美恵子さんをはじめとした農業関係者など早乙女5人がしめ縄で囲まれた水田にヒノヒカリの苗を植えつけました。山本さんは「夫婦で大切に、しっかりと育てていきたい」と話し、豊作への願いを込めていました。5.6アールの田んぼで育てられたコメは、9月下旬に刈り入れとして新嘗祭献穀田抜穂式を行い、10月に皇居へ献納を行う予定です。



地域の名産を学んでいきます

2 津野山地域

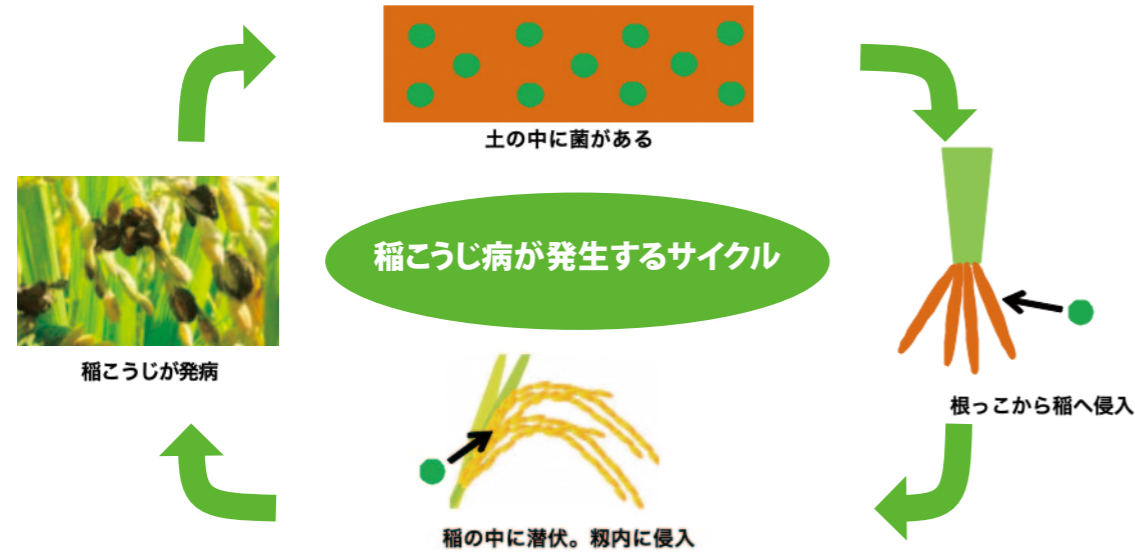
出前授業で地域活性化

6月5日、津野山営農経済センターは津野町立中央小学校の6年生14人を対象に、地域産業についての出前授業を行いました。中央小学校では以前から茶摘み体験や野菜作りなど食育活動に力を注いでおり、活動を通じて保護者や地域との連携を強化し、「地域とともにある学校」づくりを目指しています。
6年生には地域の農業をより深く知ってもらおうと、出前授業では津野山地域の農業について説明し、さらに実際にどのような作業を行っているか体験するため、地域のお茶や土佐甘とうを栽培する農家に弟子入りして、農作業を行う予定です。また、5年生では米作りに挑戦しており、各学年それぞれ違った形で地域と触れ合う取り組み方を提案しています。
津野山営農経済センターは小学校と連携し、子供たちの「ゆたかな心」が育まれるような活動を通じて地域の活性化に貢献していきます。

津野山地域より

稲こうじ病防除について

稲こうじ病は土壌病害の1つであり、出穂後しばらくすると見え始め、穂に黒いダンゴのような物がつく病気です。他に類似した病気はなく、発生の多い時には1つの穂に15～20粒も、このダンゴがつくことがあります。以前は豊年穂とも言われていましたが、現在では減収の要因や規格外など、品質への影響が重視される土壌病害の1つとなっています。



表① 幼穂の長さとお穂までの日数及び稲こうじ病防除の適期

幼穂の長さ	出穂までの日数	生育ステージ	節間伸長期
0.1cm	26日	止葉より3枚目が抽出 (二次枝梗原基分化)	第5節間伸長期
0.5cm	20日	穂肥適期 雄しべ・雌しべ原基分化	第4～2節間伸長期
5cm	14日	穂ばらみ期 (減数分裂期)	第2～1節間伸長期
8cm	12日		第2～1節間伸長期

稲こうじ病は幼穂形成期に行う防除で効果が上がります。特に上記で示した通り幼穂が5～8cmの期間が防除の適期となります。

表② 効果的な薬剤

薬剤名	濃度・用法	防除時期	回数	散布方法
ドイツボルドーA	2000倍 60～150ℓ/10a	出穂10日前まで	—	散布
撒粉ボルドー粉剤DL	3～4kg/10a	出穂10日前まで	—	散布
Zボルドー粉剤DL	3～4kg/10a	出穂10日前まで	—	散布
モンガリット粒剤	3～4kg/10a	収穫45日前まで	2回	湛水散布

※上記の薬剤を表①で示した期間に散布することで稲こうじ病の予防に効果があります。天候を確認しながら銅剤散布、天候が悪く銅剤残布ができない状況であればモンガリット粒剤の湛水散布をお勧めします。

役立つ! 得する! 情報 えいのうへ

四万十地域より

大規模直販所 “とさのさと” へ出荷しませんか?

出荷希望者説明会を開催いたしますので、農産物、加工品の出荷をご希望される方はぜひお越しください。

日時 令和2年7月29日(水) 13時30分～

場所 JA高知県四万十支所(旧JA四万十)
農協会館 2階 中ホール

説明内容
1. 出荷に係る手続き等について
2. その他
3. 質疑応答



(お問い合わせ) 株式会社とさのさと 直売課 担当: 沼、清水 電話: 088-878-8722

四万十地域より

四万十町で農業を始めませんか! 「新規就農相談会」を開催します

高南地域営農協議会では、下記の内容で就農をお考えの方を対象に相談会を開催します。就農に有利な支援制度やアドバイス等相談に応じますので関心のある方はぜひお申し込みください。

【就農に向けた支援事業等】

研修等

- 就農希望者長期研修
- 担い手支援事業

ハウス導入

- 園芸用ハウス整備事業

給付金等

- 農業次世代人材投資事業
- 壮年就農給付金事業
- 農業後継者支援給付金事業

その他

- 農地情報等
- 農業制度資金
- 農業共済・収入保険制度

日時 令和2年8月13日(木) 午後1時30分～

場所 JA高知県四万十支所 2階 中ホール (四万十町榑山町586-2)

※参加をご希望の方は、8月5日(水)までに事前の申し込みをお願いします。

※上記日程以外でも相談を受け付けますが、表記日程では関係機関が参集しますので幅広い対応が可能です※

(申込・問合せ先) 四万十営農経済センター 営農指導課 ☎22-5179 島岡・森本

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

抱へ来し草花とつと活けし部屋
網戸入れいっしか眠りにつきにけり

武政礼子

二才児のボール蹴る庭うららけし
娘来て父祖の墓前に百合の花

市川和美

大輪の牡丹見に行く朝毎に
花次刈り怠れば生ひ茂る

今橋孝子

コロナなどごこふく風と蛍舞ふ
鶯に早く起きよとせかされて

田中信子

慣れぬ土地友思い出す豆の飯
夏めきて只ぶらぶらと畳踏む

竹内春猪

西山に霧立ち上り夏近し
新茶くむ雀の騒ぐ裏の藪

西宮正衛

田から田へ水のゆたかに代田播く
手摘みせし新茶の縫りの細やかに

長谷部延子

露のたう谷間に瀬音ひびきをり
梅の中逆さになりし目白かな

渡辺小梅

短歌

窪川短歌教室

満開の桜もちよつと淋しそう世の中コロナで大騒ぎだから

岩井 房子

志村けん遠い世界の人のなにとでも近くて涙溢れる

中内 佐登美

親族でトマト植えて二十年一日酔いなる孫も加わる

岡村 香代子

目に見えぬ小さきものの恐ろしさ新型ウイルスにたじろぐ人間

島岡 紀美

川霧にのまれて消ゆる時のあり渡川辺の吾の住む里は

市川 隆子

裡にある大きき瘡蓋ひつpegしぐんぐん前に進みゆきたし

文野 見枝子

燃えあがる野焼きの炎見つつ思ふソロアスター教といふがあること

市川 浩子

大阪より来たりて孫が駆け抜ける龍馬マラソン朝より雨

北村 さちこ

山桜果てたるのちを定位置にひろりきたる白き山藤

黒岩 やよえ

俳句

おたよりから

携帯をたすきにかけてお茶をつむ

(津野町・宇都宮 由利子)

雨の日の燕の会話雨あがれ

(津野町・弘瀬 秀頼)

散歩道今夜のおかず考える

(梶原町・松山 松美)

かたくなに活けて癒され川つつじ

(津野町・村田 三喜子)

短歌

大木の白木蓮のたちまちに新緑となり空に広がる

(四万十町・嶋岡 露子)

【各支所連絡先】

四万十支所 (旧JA四万十本所)

0880-22-0003

梶原支所 (旧JA津野山本所)

0889-65-0111

興津支所 0880-25-0002

東津野支所 0889-62-2211

大野見支所 0889-57-2321

葬祭会館 ルミエール四万十

0880-22-5900

(株)JAメモリアルこうち 津野山出張所

0889-40-1955

事故受付など 高西サービスセンター

0889-40-4141